

消防行政は今以上にサービスの質・量を 向上させ、より一層の施策展開を図れ

消防の果たす役割が火災や災害から市民を守るだけでなく、救急救命という福祉的な役割を担うべきものへと大きく変化している。市民の生命と財産、安心と安全を守る観点から、今以上にサービスの質・量が求められ、より一層の施策の展開が必要として、次のような質問があった。

市長の政治姿勢

消防庁舎建設

問 二十二年度部局運営方針に、同庁舎の建設場所の確定等を目標に掲げているが、どう取り組むのか。

答 消防庁舎については、防災拠点の位置づけでありながら、老朽化が著しく、耐震性も有していないため、新庁舎建設の必要性は認識している。さらに、多額の経費が見込まれる消防・救急無線のデジタル化を十八年五月末までに整備する必要があり、本市単独での整備に限定せず、経費的に削減が見込まれる広域的な合同指令センターの検討もあわせて進める必要がある。いずれにせよ、本市の厳しい財政状況を勘案しつつ、調査・研究を重ねてきており、防災の拠点となる機能を十分に備えた施設を整備し、市民の安心・安全に寄与したい。

問 広域化対象の消防本部の確定にどう取り組むのか。

答 十八年に消防の広域化の推進が法制化されたところから広域化について検討してきたが、広域化対象の消防本部の確定には至っていない。

今後、広域化に伴う消防力の向上や行財政上の様々なスケールメリットを生かす観点から、近隣消防本部との連携を深め、消防の広域化の検討を進めたい。



新庁舎建設が急がれる消防庁舎

学校再編整備

問 教育現場において子供たちを育成する上で、一番よい環境について聞きたい。

答 教育基本法に示された義務教育の目的を達成するために重要な役割を果たす

学校の教育環境は、大きくは、教育活動の充実、施設設備の充実、子供や教師の人的な環境整備の三点からとらえている。

一点目の教育活動の充実については、バランスのとれた生きる力を育成できる適切な教育目標と指導計画のもと、日々の学習指導や生徒指導、学校行事等が充実していること。二点目は、子供たちが安心して効果的に学ぶことができる施設設備等が充実していること。

三点目の人的な環境整備については、子供たちが諸活動の中で多様な考えに触れたり、認め合ったり、協力し合いながら切磋琢磨すること。一定の集団を維持することが大切である。また、人間関係に配慮した学級編制ができること、習熟度別指導等の様々な指導形態が可能になることや部活動が活性化される規模であることも

望ましいと考える。

問 過疎法改正により本市が過疎地域に指定された場合、思い切った学校再編を進めるべきだがどうか。

答 現在、改正法の詳細が明らかではないが、国の過疎債等の有利な財政措置を活用した学校再編整備については、全庁的な調整の中で検討する必要がある。

ごみ減量化

問 ごみ袋有料制度導入後の影響と効果を聞きたい。

答 当初の予測を上回るごみの減量化及び再資源化が定着しており、それらの意識の高まりや地域における分別の徹底が図られた結果などによるものと考えている。

また、RDF化施設において、計画処理能力にのびたごみ量となり、計画的運転かつ安定稼働が図られ、処理費用の軽減とあわせて施設の延命化が期待できる。さらに、収集車両においても減車が図られた。